

社会資本総合整備計画（防災・安全交付金）通常計画 中間評価書

令5年10月20日
甲府市公共事業評価委員会

計画の名称		災害につき安心・安全な街、甲府市の下水道施設改築更新計画（防災・安全）		計画の期間	令和2年度～令和6年度（5年間）
計画の目標		下水道施設全体の強靱化と適正な管理に基づく効果的な改築を推進し、持続可能な経営基盤の強化のもと、将来にわたり安全・安心で快適な生活環境を実現する。			
計画の成果目標（定量的指標）					
番号1 総合地震対策で位置付ける重要な管路のうち、液状化の起きやすい地域に埋設された管路施設の耐震化対策実施率を33%（R2年度当初）から57%（R6年度末）に増加させる。					
番号2 処理場及びポンプ場施設の耐震化率を27.6%（R2年度当初）から48.3%（R6年度末）に増加させる。					
番号3 スtockマネジメント計画に基づく管路施設の点検・調査実施率を7%（R2年度当初）から12%（R6年度末）に増加させる。					
番号4 スtockマネジメント計画に基づく処理場・ポンプ場設備の調査実施率を0%（R2年度当初）から100%（R6年度末）に増加させる。					
定量的指標の定義及び算定式		定量的指標の目標値及び実績値・想定値			
			計画当初 (R2年度当初)	中間年度 (R4年度末)	最終年度 (R6年度末)
番号1 耐震化対策実施率	耐震診断の結果耐震性を有する又は耐震化対策を施した管路延長 (km) / 総合地震対策で位置付ける重要な管路のうち、液状化の起きやすい地域に埋設された管路延長 (km)	目標値	33%	49%	57%
		実績値・想定値	33%	46%	51%
番号2 処理場及びポンプ場施設の耐震化率	処理場及びポンプ場施設の耐震化率	目標値	27.6%	40.2%	48.3%
	処理場及びポンプ場施設のうち耐震性を有する施設数（施設） / 処理場及びポンプ場の全施設数（施設）	実績値・想定値	27.6%	41.4%	46.0%
番号3 管路施設の点検・調査実施率	管路施設の点検・調査実施率	目標値	7%	10%	12%
	管路施設のうち点検・調査を実施した延長 (km) / 管路施設全延長 (km)	実績値・想定値	7%	10%	13%
番号4 処理場・ポンプ場の予防保全対象設備の調査実施率	処理場・ポンプ場の予防保全対象設備のうち調査を実施した設備点数 (点) / 予防保全対象設備点数 (点)	目標値	0%	40%	100%
		実績値・想定値	0%	0%	100%
○事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況（R4年度末）		番号1 下水道総合地震対策計画に基づき、液状化の起きやすい地域に埋設された管路施設の耐震診断調査や対策を進め、耐震化対策実施率の向上を図った。			
		番号2 下水道総合地震対策計画に基づき、処理場及びポンプ場施設の耐震診断調査や対策を進め、耐震化率の向上を図った。			
		番号3 スtockマネジメント計画に基づき、計画的に管路施設の点検・調査を実施した。			
		番号4 スtockマネジメント計画に基づき、処理場及びポンプ場施設の設備調査を進めた。			
II 中間目標値の達成状況（実績）					
II 中間目標値の達成状況（実績）	番号1（耐震化対策実施率）	中間目標値（R4年度末）	49%	目標値と実績値に差が出た要因	計画的に耐震化対策を進めているが、本市の現状に合う耐震化工法で交付金を活用できる工法が少なく、実施工法の検討に時間が掛かり、対策に遅れが生じたため、目標達成に至らなかった。 【中間目標延長】4.435km / 27.122km[対象延長]×100=16%より、33%[R2当初値]+16%=49% 【中間実績延長】3.587km / 27.122km[対象延長]×100=13%より、33%[R2当初値]+13%=46%
	番号2（処理場及びポンプ場施設の耐震化率）	中間目標値（R4年度末）	40.2%	目標値と実績値に差が出た要因	計画的に耐震診断調査や補強工事を実施し、目標を達成した。
	番号3（管路施設の点検・調査実施率）	中間目標値（R4年度末）	10%	目標値と実績値に差が出た要因	計画的に管路施設の点検・調査を実施し、目標を達成した。
	番号4（処理場・ポンプ場の予防保全対象設備の調査実施率）	中間目標値（R4年度末）	40%	目標値と実績値に差が出た要因	老朽化対策の調査について、当初は、令和3年度までにStockマネジメント計画（第1期）の改築を実施した後に、令和4年度から令和6年度で実施する計画であった。令和4年度の防災・安全交付金の当初予算内示額が不足したことから発注時期等を調整し、令和4年度の補正予算で発注としたため、調査完了が令和5年度となり、目標達成に至らなかった。 【中間目標点検数】339点 / 832点[対象設備数]×100=40%より、0%[R2当初値]+40%=40% 【中間実績点検数】0点 / 832点[対象設備数]×100=0%より、0%[R2当初値]+0%=0%
III 最終目標値の達成状況（想定）					
III 最終目標値の達成状況（想定）	番号1（耐震化対策実施率）	最終目標値（R6年度末）	57%	最終目標値達成に向けた方針	次の要因により、最終目標値の達成が困難なため、最終目標値を修正する。 ●交付金を活用できる耐震化工法の検討に時間が掛かり、対策工事が本計画期間内で完了しないため。 【最終目標延長】6.455km / 27.122km[対象延長]×100=24%より、33%[R2当初値]+24%=57% 【最終想定延長】4.900km / 27.122km[対象延長]×100=18%より、33%[R2当初値]+18%=51%
	番号2（処理場及びポンプ場施設の耐震化率）	最終目標値（R6年度末）	48.3%	最終目標値達成に向けた方針	中間年度は、目標値以上に進んでいるが、次の要因により、最終目標値の達成が困難なため、最終目標値を修正する。 ●耐震補強工事を予定していた住吉中継ポンプ場内の合流雨水ポンプ場と池添ポンプ場は、耐震診断調査の結果より「建替えが有効」となり、対策変更に伴って、再調整や予算の確保等が必要のため。 【最終目標施設数】18施設 / 87施設[対象施設]×100=20.7%より、27.6%[R2当初値]+20.7%=48.3% 【最終想定施設数】16施設 / 87施設[対象施設]×100=18.4%より、27.6%[R2当初値]+18.4%=46.0%
	番号3（管路施設の点検・調査実施率）	最終目標値（R6年度末）	12%	最終目標値達成に向けた方針	最終目標値の達成に向けて、「甲府市下水道Stockマネジメント計画（第2期）」に基づき、計画的な管路施設の点検・調査を引き続き進めていく。
	番号4（処理場・ポンプ場の予防保全対象設備の調査実施率）	最終目標値（R6年度末）	100%	最終目標値達成に向けた方針	中間年度の状況では、目標達成に至らなかったが、最終目標値の達成に向けて、「甲府市下水道Stockマネジメント計画（第2期）」に基づき、令和5年度・6年度で対象設備の調査を実施していく。
IV 最終目標値の達成に向けた対策					
IV 最終目標値の達成に向けた対策	番号1（耐震化対策実施率）	「甲府市下水道総合地震対策計画（第4期）」を策定し、耐震化対策の加速化を目指すとともに、予算の確保や事業の適正な執行管理に努め、計画的な耐震化対策実施率の向上に取り組む中で、最終目標値を57%から51%へ下方修正し、令和6年度末の目標達成を目指す。 なお、「甲府市下水道総合地震対策計画（第4期）」を策定中であり、基準や目標値等の見直しに伴い、最終想定値が変更となる可能性がある。			
	番号2（処理場及びポンプ場施設の耐震化率）	処理場及びポンプ場施設の耐震化対策の見直しに伴って、予算の確保や事業の適正な執行管理に努め、着実に施設の耐震化率の向上に取り組む中で、最終目標値を48.3%から46.0%へ下方修正し、令和6年度末の目標達成を目指す。 なお、「甲府市下水道総合地震対策計画（第4期）」を策定中であり、基準や目標値等の見直しに伴い、最終想定値が変更となる可能性がある。			

※一部施設が重点計画の対象のため、番号2は「防災・安全交付金（重点計画）」番号3と同じ目標値である。

社会資本総合整備計画（防災・安全交付金）通常計画

